

踏み跡 <My Mountains>

東北(栗駒山)	栗駒山(須川から・イワカガミ平から)	No.245
---------	--------------------	--------

今年の夏の旅は少し足を伸ばして栗駒山へ行ってみようとかみさんと意気投合。栗駒山は宮城県・秋田県・岩手県の三県に跨る山で、時期がよければ花が楽しめる山のようなのだ。

車を利用することと温泉に泊ることが日程作りの条件。結論として、温湯温泉と駒ノ湯に各一泊、栗駒山を北面(須川)からと南面(イワカガミ平)からの2パターンの登り方をして見ようと言うプランにした。

平成6年7月27日 <自宅→築館→温湯温泉>

天気は快晴、5時40分に自宅を出発。千葉北インターから湾岸・首都高速経由で浦和から東北自動車道へ。佐野サービスエリアで7時20分～8時まで朝食と休憩。古川を過ぎて長者原サービスエリアで昼食(11時40分～12時10分)。

築館インターで降りて国道398号を花山村へ。花山村で給油をして今宵の宿である温湯温泉に13時に到着。

栗駒有料道路を上がって須川温泉周辺へ下見に行ってみる。海拔1300mより上はガスの中。泥炭地、須川湖、周辺の湿原巡りなどを楽しんで温湯温泉の温湯山荘に17時10分帰着。

平成6年7月28日 <温湯温泉→須川温泉→栗駒山→須川温泉→駒ノ湯>

5時15分起床、天気は晴れ、恒例の朝風呂。宿で作ってもらった朝食のおにぎりを持って出発。再び栗駒有料道路を走って須川温泉へ。朝の須川温泉、駐車場近くのお店の軒先で巣から落ちた燕の雛を眺めながら持参したおにぎりの朝食。燕の場合は親鳥が加えて巣に戻すという習慣はないのだろうか、かわいそうだが何もしてやることはできない。7時51分に出発、もうカンカン照り。昭和湖9時、青い(というよりも「碧い」の方が良いか?嘘のような碧さ)蛍光色の水の色と岩肌の色とのコンビネーションが素晴らしい。龍泉ヶ原を往復することにした。



龍泉ヶ原はかなり広い湿原後期の平原。ミズバショウが一か所だけ咲いていた。花の盛りをちょっと過ぎてしまったのが惜まれる。最盛期ならばかなり楽しめそうな感じがする。

10時38分昭和湖に戻り、上へ向かう。11時20分稜線に飛び出したので中止。そして栗駒山(1628m)に到着、11時55分。心憎い時刻に到着するものだ。頂上は快晴だが、北側も南側もガスで遠望が利かない。(左写真)須川からよりいワカガミ平から登ってくる人の方が多いようだ。小一時間かけてじっくり昼食。

下りは東側の尾根経由で須川温泉に15時帰着。

しばし余韻の休憩を楽しんだ後、15時52分に出発。栗駒山を右回りでぐるっと回るドライブで駒の湯へ。

二泊目の温泉駒ノ湯に17時半に到着。19時雨が降ってきたが、明日の天気予報は晴れのようなので心配もせず温泉を楽しんだ。



踏 み 跡 <My Mountains>

平成6年7月29日 <駒ノ湯→いわかがみ平→栗駒山→イワカガミ平→築館→自宅>

4時50分起床、天気は快晴。最終日、栗駒山に登ってから千葉まで帰らなければならない忙しい日。

5時から世界谷地を散策。7時10分に宿に戻って朝食をとり、7時40分出発。

イワカガミ平まで上がって駐車場に車を置いて7時56分から歩きはじめる。強い日差しの下に栗駒山の緑、そして御沢上部の残雪の色、舞台装置は整ったという感じがする朝。

栗駒山9時15分。頂上到達の瞬間、北西に鳥海山が見えたぞと思ったとたんガスの中に消えてしまった。カメラを出す間もなく……。段々にガスに包まれて気温も下がり涼しくなってきた。軽食を取りながら再び鳥海山が現れることを祈ったが、残念な結果となった。

9時50分に出発して東栗駒山(1434m)へ。そしてイワカガミ平に11時35分に帰着。ここまで下つてくるとガスはなく晴れている。晴れていれば気温も高い。ここで昼食とする。

金明水で土産用に水を200汲んで、冷たい水で体を洗ってドライブウェアに着替え。

巖美溪・達谷の窟・毛越寺・伊豆沼と寄り道をして築館インターから東北自動車道に入った。

仙台付近から小雨、宇都宮付近から本格的な雨となり、良いタイミングの帰京スケジュールになった。

以上

